



ウェブメール

ウェブメールとは・・・

Webブラウザ上(グループウェア)で電子メールの送受信ができる機能です。
メールデータは全てサーバに保管されるため、個々の端末にはメールデータを残しません。
「アドレス帳」「利用者名簿」機能と連携しているため、宛先選択も便利です。

ウェブメール 目次

1. ウェブメールの管理者メニュー (P2)
2. ウェブメールの機能管理者を設定する (P4)
3. メールサーバーを設定する (P5)
4. 各ユーザーの保存容量を設定する (P6)
5. メールのダウンロードを制限する (P7)
6. ウェブメールの共通設定を設定する (P8)
7. 誤送信防止設定を行う (P11)
8. 個人メールアカウントを設定する (P13)
9. アカウント情報のインポート/エクスポート (P16)
10. 共有メールアカウントを設定する (P17)
11. 共有メールアカウントの保存容量を設定する (P19)
12. 共有メールアカウントの各種設定を設定する (P20)
13. 共有メールアカウントを表示する (P21)

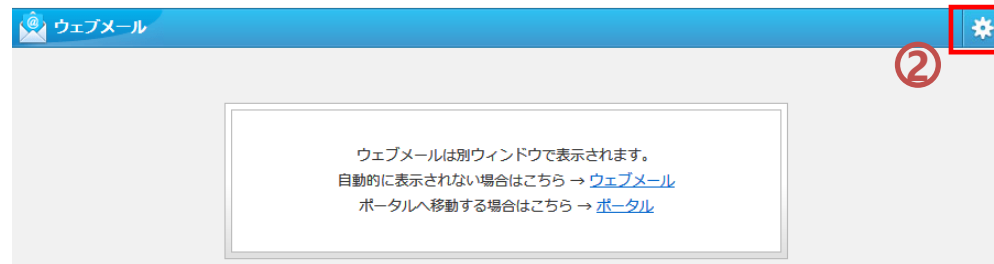
ウェブメール管理者設定メニュー

① [ウェブメール]をクリックすると、ウェブメール画面が別ウィンドウで表示されます。

※ブラウザのポップアップブロック機能によりブロックされる場合がありますのでブラウザの設定にてポップアップを許可してください。



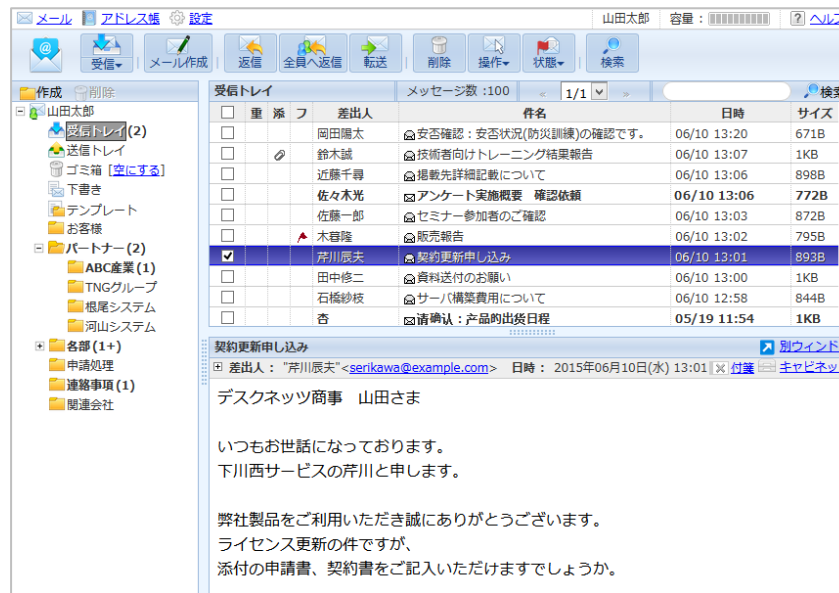
② ウェブメールの管理者設定メニューは元の画面の右上の歯車アイコンをクリックすると表示されます。



管理者設定メニュー
次ページ



別ウィンドウ



ウェブメール管理者設定メニュー

システム管理者またはウェブメールの機能管理者でウェブメール機能を開き、右上の歯車アイコンをクリックすると、管理者の設定メニューが表示されます。
 ※ウェブメール画面ではなく、元のdesknet'sNEOの画面となります。



▼【機能管理】

▼【個人アカウント設定】

- アカウント設定
- アカウントのインポート
- アカウントのエクスポート
- メール索引の最適化

▼【共有アカウント設定】(※)

- アカウント設定
- メール索引の最適化

▼【システム管理】

- 設定状況
- 共通設定
- 管理者設定
- 共有アカウント利用設定
- メールサーバー設定
- メールダウンロード設定
- 各ユーザーの容量設定
- 各共有アカウントの容量設定(※)
- 【誤送信防止】
- 誤送信防止設定
- 送信先ホワイトリスト設定

※機能管理者

※システム管理者

(※)「共有アカウント設定」項目は初期は非表示になっており、[システム管理]-[共有アカウント利用設定]にて“許可する”と設定すると、表示されます。

※【システム管理】はシステム管理者のみ設定可、
 【機能管理】はシステム管理者及び機能管理者のみ設定可。

ウェブメールの機能管理者を設定する

ウェブメール機能の機能管理者を設定します。

■[システム管理]>[管理者設定]

機能管理者としてウェブメール機能内でシステム管理者と同権限を付与することができます。

設定はユーザー単位又はロール単位に付与できます。

機能管理者はウェブメールの機能設定や、各ユーザーのアカウント設定、共有アカウントの管理などが行えます。

ウェブメール > システム管理 設定機能 : ウェ

← 変更

管理者設定

ユーザー/ロール選択 選択を解除

<input type="checkbox"/> ユーザー/ロール	所属組織
<input type="checkbox"/>  山田太郎	全社, 東日本営業部, 東京本社
<input type="checkbox"/>  斉藤花子	全社, 東日本営業部, 東京本社
<input type="checkbox"/>  伊藤守	全社, 営業本部, 東京本社

メールサーバーを設定する

全ユーザー共通で使用するメールサーバーを設定します。

■受信メールサーバー(POP3)

受信メールサーバー名、ポート番号、通信の保護を入力します。

■送信メールサーバー(SMTP)

送信メールサーバー名、ポート番号、通信の保護を入力します。

■メール送信時の認証

POP before SMTPまたはSMTP認証の選択ができます。
メールサーバー側で設定されています場合は、こちらを設定してください。

■サーバタイムアウト

メールサーバーへのログオンの失敗を何秒まで待機するかの設定。

■[システム管理]>[メールサーバー設定]

@ ウェブメール > システム管理 設定機能: ウェブメール

← 変更

メールサーバー設定

受信メールサーバー : (POP3)	サーバー名 : <input type="text"/> ポート番号 : <input type="text" value="110"/> ※ 通常は110で設定します。 通信の保護 : <input type="text" value="なし"/>
送信メールサーバー : (SMTP)	サーバー名 : <input type="text"/> ポート番号 : <input type="text" value="25"/> ※ 通常は25で設定します。 通信の保護 : <input type="text" value="なし"/>

▼ [STARTTLS通信時の認証について](#)

※ これは、「通信の保護」に

- ・ STARTTLS
- ・ STARTTLS (証明書の検証なし)

のいずれかを選択した場合の設定です。
本設定を有効にすると、メールサーバーに対する認証の一部を省略することができます。
これにより、特定のメールサーバーとの通信速度が向上する場合があります。
ですが、お使いのメールサーバーによっては、メールの送信が行えなくなる場合があります。
その場合は、本設定を解除してください。

認証の一部を省略する。

※ 通常は、チェックせずにご利用ください。

メール送信時の認証 : 認証しない

POP before SMTP

※ この値を選択した場合、メール送信する際に受信メールサーバーの認証を行います。

SMTP認証

認証方式 :

※ この値を選択した場合、メール送信する際にSMTP認証を行います。

サーバertimeアウト(秒) :

各ユーザーの保存容量を設定する

各ユーザーの保存可能な容量設定を行います。

- ① 保存サイズの初期値を設定します。
- ② ユーザー名をクリックすると、ユーザー個別に設定を行います。
- ③ 複数のユーザーを一括で設定することができます。

※保存サイズは最大「99,999MB」まで設定可能です。

こちらの容量を超えた場合、対象のユーザーのウェブメール画面の上部にエラーメッセージ(赤色文字)が表示され、メール受信が停止します。

不要メールを削除し空き容量を確保することでメールの受信が再開されます。

■[システム管理]>[各ユーザーの容量設定]



ウェブメール > システム管理 > 各ユーザーの容量設定

設定機能: ウェブメール

ユーザーアカウント容量設定初期値 ①

保存サイズ: [設定なし](#)

制限する/制限しない: [制限しない](#)

ユーザー別設定

制限する 制限しない **一括設定に切替** ③ 全3件

組織選択 情報システム室

<input type="checkbox"/>	氏名	保存サイズ	制限する/制限しない	ゴミ箱の保存期間	使用容量
<input type="checkbox"/>	システム管理者 ②	設定なし	制限しない	無期限	8 KB
<input type="checkbox"/>	太杉貴志	200 MB	制限する	削除した日から10日間	0 B (0%)
<input type="checkbox"/>	武田みつお	設定なし	制限しない	無期限	0 B

制限する 制限しない | 一括設定に切替 全3件

※ 保存サイズが1MB未満のユーザーを、容量制限することはできません。

メールのダウンロードを制限する

メールのダウンロード機能を制限します。

※全ユーザーが対象となります。

■ダウンロード機能

ユーザーにダウンロード機能を使用させるかしないかを設定します。

■メールの総サイズ

1回のダウンロードで可能な合計サイズを設定します。※1～1024の値を入力してください。

■メールの総数

1回のダウンロードで可能なメールの総件数を設定します。※1～1000の値を入力してください。

■[システム管理]>[メールダウンロード設定]



ウェブメール > システム管理 設定機能 : ウェブメール

変更

メールダウンロード設定

ダウンロード機能 : 許可しない

メールの総サイズ(*) : 1024 MB
※ ダウンロードするメールの合計サイズの最大値を設定します。
※ 1～1024の値を入力してください。

メールの総数(*) : 1000
※ ダウンロードするメールの最大数を設定します。
※ 1～1000の値を入力してください。

※ (*)は必須項目です。

ウェブメールの共通設定を設定する（1/3）

ウェブメール機能の共通設定を行います。
ユーザーの個人設定の初期値も設定します。

■メール画面のレイアウト

ウェブメール画面のレイアウトを設定します。

- ・3ペイン(本文プレビューあり)
- ・2ペイン(本文プレビューなし)

■本文表示文字数

メール参照画面に表示する本文の文字数を設定します。

※スパムメール対策として3万文字又は5万文字の設定を推奨します。

■HTMLメールの表示方法

受信したHTMLメールを本文に表示するか、添付ファイルとして表示するかを設定します。

■既読にする条件

メールを既読にする条件を設定します。
チェックをすると、プレビュー画面にて最終行を表示したときに既読になります。
秒数を入力すると、メールを表示してから入力した時間が経つと自動で既読になります。

■署名の挿入位置

メールの署名を本文の先頭または末尾に挿入するかを設定します。

■[システム管理]>[共通設定]

ウェブメール > システム管理

設定機能: ウェブメール

変更

共通設定

1ページの表示数: 100件
※ この値はデフォルト値で、ユーザー個別に変更できます。

メール画面のレイアウト: 3ペイン(本文プレビューあり)
※ この値はデフォルト値で、ユーザー個別に変更できます。

本文表示文字数: 30,000文字

HTMLメール本文の表示形式: HTML
※ 「テキスト」とした場合、HTMLメールを構成するHTML部分とテキスト部分のうち、テキスト部分のみを参照画面に表示します。テキスト部分が存在しないHTMLメールの場合、HTML部分から抽出したテキストを参照画面に表示しますが、正しく表示できない場合があります。
※ 「テキスト」とした場合、HTML部分は添付ファイルとして表示します。

既読にする条件: 最終行が表示されたら既読にする
メールを表示してから既読にするまでの時間(秒):
※ 「メールを表示してから既読にするまでの時間」が未入力の場合、自動では既読になりません。
※ この値はデフォルト値で、ユーザー個別に変更できます。

署名の挿入位置: 挿入しない 本文の先頭 本文の末尾
※ メール作成画面を開いた際に、自動的に本文に署名を挿入します。この時の挿入位置を設定します。
※ この値はデフォルト値で、ユーザー個別に変更できます。

ウェブメールの共通設定を設定する（2/3）

ウェブメール機能の共通設定を行います。
ユーザーの個人設定の初期値も設定します。

■転送方法

メールを転送する際に、元のメールを本文に含めるか、ファイルとして添付するかを設定します。

■返信方法

返信の際に、元のメールを引用するかどうかを設定します。

■全員への返信時の宛先

元のメールの宛先を返信時の[宛先]に含めるか、[CC]に含めるかを設定します。

■送信時の本文の自動改行

送信時にメール本文を自動改行するかを設定します。

■送信済みメールの保存

送信したメールを送信トレイに保存するかどうかを設定します。通常は「保存する」を設定します。

■保存期間を超えた受信メールの削除確認

保存期間を過ぎた受信トレイのメールを削除するかどうかの削除確認画面を表示するかを設定します。

■[システム管理]>[共通設定]

転送方法：	元のメールをメール本文に含める <input type="button" value="v"/> ※ この値はデフォルト値で、ユーザー個別に変更できます。
返信方法：	<input checked="" type="checkbox"/> 元のメール本文を引用する 引用符： <input type="text" value=">"/> ※ この値はデフォルト値で、ユーザー個別に変更できます。
全員への返信時の宛先：	元のメールの宛先を返信時の宛先に含める <input type="button" value="v"/> ※ この値はデフォルト値で、ユーザー個別に変更できます。
送信時の本文の自動改行：	<input type="checkbox"/> メール本文を自動的に改行する 行の文字数： <input type="text" value="0"/> ※ 30～250の値を入力してください。
送信済みメールの保存：	保存する <input type="button" value="v"/> ※ この値はデフォルト値で、ユーザー個別に変更できます。
保存期間を超えた： 受信メールの削除確認	表示しない <input type="button" value="v"/> ※ 保存期間が過ぎた受信トレイのメールを削除するかどうかの確認画面を表示します。 ※ この値はデフォルト値で、ユーザー個別に変更できます。 注)確認画面を表示しない場合、保存期間が過ぎた受信トレイのメールは完全に削除されます。
フィルタによる自動転送：	許可する <input type="button" value="v"/>
HTMLメールの作成：	許可する <input type="button" value="v"/>
個人毎のアカウント設定：	許可しない <input type="button" value="v"/>
個人毎の最適化処理：	許可する <input type="button" value="v"/>

ウェブメールの共通設定を設定する（3/3）

ウェブメール機能の共通設定を行います。
ユーザーの個人設定の初期値も設定します。

■フィルタによる自動転送

フィルタ機能によるメールの自動転送を制限します。

■HTMLメールの作成機能

HTMLメールの作成を許可するかを設定します。

■個人毎のアカウント設定

各ユーザーがメールアカウントを設定できるようにするかを設定します。
制限した場合、一般ユーザーはアカウントの管理ができないため、管理者でしかアカウント管理ができません。

■個人毎の最適化処理

各ユーザーが「メール索引の最適化」機能を使えるようにするかを設定します。

■[システム管理]>[共通設定]

転送方法 :	元のメールをメール本文に含める <input type="button" value="v"/> ※ この値はデフォルト値で、ユーザー個別に変更できます。
返信方法 :	<input checked="" type="checkbox"/> 元のメール本文を引用する 引用符 : <input type="text" value=">"/> ※ この値はデフォルト値で、ユーザー個別に変更できます。
全員への返信時の宛先 :	元のメールの宛先を返信時の宛先に含める <input type="button" value="v"/> ※ この値はデフォルト値で、ユーザー個別に変更できます。
送信時の本文の自動改行 :	<input type="checkbox"/> メール本文を自動的に改行する 行の文字数 : <input type="text" value="0"/> ※ 30~250の値を入力してください。
送信済みメールの保存 :	保存する <input type="button" value="v"/> ※ この値はデフォルト値で、ユーザー個別に変更できます。
保存期間を超えた :	表示しない <input type="button" value="v"/> ※ 保存期間が過ぎた受信トレイのメールを削除するかどうかの確認画面を表示します。 ※ この値はデフォルト値で、ユーザー個別に変更できます。 注)確認画面を表示しない場合、保存期間が過ぎた受信トレイのメールは完全に削除されます。
フィルタによる自動転送 :	許可する <input type="button" value="v"/>
HTMLメールの作成 :	許可する <input type="button" value="v"/>
個人毎のアカウント設定 :	許可しない <input type="button" value="v"/>
個人毎の最適化処理 :	許可する <input type="button" value="v"/>

誤送信防止機能を設定する(1/2)

■メール送信前の確認(確認有無)

メールを送信する直前に、宛先や、内容を確認するための画面を表示するかどうかを設定します。

「すべての入力内容をチェックするまで送信しない」を選ぶと、メール送信前に各項目にチェックボックスが表示されるようになり、全てチェックするまでメールを送信させないようにすることができます。

・対象とする項目

確認画面にどの項目を表示するかを選びます。

・ホワイトリストに該当するアドレスの扱い

「ウェブメール > システム管理 > 送信先ホワイトリスト設定」で設定されているメールアドレスやドメインをチェックの対象外とすることができます。

・大量アドレスへの送信警告

「件数を5件、警告を表示する」と設定した場合、メールを作成するときに、宛先欄に5件以上のメールアドレスを指定すると、メールの送信確認画面に、赤字でBCCの使用を推奨するメッセージが表示されます。

・個人毎の設定変更

誤送信防止設定を個人ごとに行ってよいかを設定します。

■送信の取り消し

送信の取り消し機能を有効とするかを設定します。有効とする場合、時間(秒)を指定することで、メール作成時に送信ボタンを押下した際にその時間内であればメールの送信を取り消すことができます。

■[システム管理]>[誤送信防止設定]

誤送信防止設定	
メール送信前の確認：	<input type="radio"/> 行わない <input type="radio"/> 行う(入力内容は表示しない) <input type="radio"/> 行う(入力内容を表示する) <input checked="" type="radio"/> 行う(すべての入力内容をチェックするまで送信しない) ※ 確認画面に表示される各入力内容すべてをチェックするまで送信できません。
対象とする項目：	<input type="checkbox"/> 差出人 <input checked="" type="checkbox"/> 宛先 <input checked="" type="checkbox"/> CC <input checked="" type="checkbox"/> BCC <input type="checkbox"/> 重要度 <input type="checkbox"/> 開封確認 <input type="checkbox"/> 言語 <input checked="" type="checkbox"/> 件名 <input checked="" type="checkbox"/> 本文 <input checked="" type="checkbox"/> 添付ファイル ※ 「行う(入力内容を表示する)」又は「行う(すべての入力内容をチェックするまで送信しない)」が選択されている場合のみ有効。
ホワイトリストに該当するアドレスの扱い	<input checked="" type="radio"/> チェックを免除する <input type="radio"/> チェックを免除しない ※ 「行う(すべての入力内容をチェックするまで送信しない)」が選択されている場合のみ有効。
大量アドレスへの送信警告	<input checked="" type="radio"/> 警告を表示する <input type="radio"/> 警告を表示しない 大量アドレスとする件数： <input type="text" value="5"/> ※ 「警告を表示する」とした場合、大量アドレスとする件数以上のアドレスが「宛先」「CC」に指定されている場合に警告を表示します。 ※ 「行う(入力内容を表示する)」又は「行う(すべての入力内容をチェックするまで送信しない)」が選択されている場合のみ有効。
個人毎の設定変更	<input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 許可しない ※ 「許可する」とした場合、ユーザー個別にメール送信前の確認設定を変更できます。
送信の取り消し	<input checked="" type="checkbox"/> 送信の取り消し機能を有効にする 取り消せる時間(秒)： <input type="text" value="5"/>
個人毎の設定変更	<input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 許可しない ※ 「許可する」とした場合、ユーザー個別に送信の取り消し設定を変更できます。

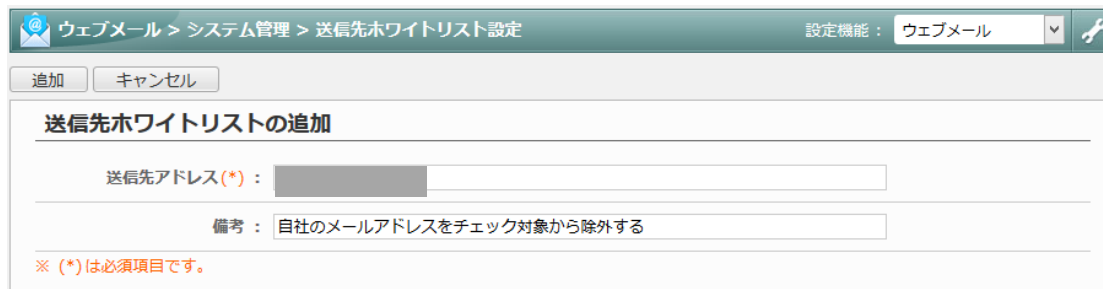
誤送信防止機能を設定する(2/2)

■送信先アドレス

メール送信前の確認画面でチェックを免除したアドレスを登録します。

※免除を行う場合は、合わせて、「ウェブメール>システム管理>誤送信防止設定」で[チェックを免除する]を選んでください。

■[システム管理]>[送信先ホホワイトリスト設定]



ウェブメール > システム管理 > 送信先ホホワイトリスト設定

設定機能: ウェブメール

追加 キャンセル

送信先ホホワイトリストの追加

送信先アドレス(*) :

備考: 自社のメールアドレスをチェック対象から除外する

※ (*)は必須項目です。

個人のメールアカウントを設定する（1/3）

各ユーザーの個人のメールアカウント設定します。

① 対象ユーザーにチェックし、[利用させる] [利用しない]ボタンで、ユーザー個別にウェブメールの利用を制限できます。

② ユーザー名をクリックすると、そのユーザーのアカウント設定画面が表示されます。

[アカウントの追加]をクリックすると、新規にアカウントを追加します。

※1ユーザーに複数のアカウントを追加することは可能です。

※アカウントを削除すると、そのアカウントの全ての送受信メールも同時に削除されますのでご注意ください。

■氏名/電子メール

氏名とメールアドレスを入力します。

“氏名<メールアドレス>”の形式で、送信するメールの「送信元」として表示されます。

■[機能管理]>[個人アカウント設定]>[アカウント設定]

ウェブメール > 機能管理 > 個人アカウント設定 > アカウント設定

← 利用させる 利用させない ①

組織選択 情報システム室

<input type="checkbox"/>	氏名	アカウント名	メール受信	利用
<input type="checkbox"/>	システム管理者 ②	システム管理者	▼ する	利用させる
<input type="checkbox"/>	大杉貴志	該当するデータはありません。		利用させる
<input type="checkbox"/>	武田みつお	該当するデータはありません。		利用させる
<input type="checkbox"/>	斉藤信二	該当するデータはありません。		利用させる

ウェブメール > 機能管理 > 個人アカウント設定 > アカウント設定

← アカウントの追加 通常使用するアカウントの変更

該当するデータはありません。

アカウント追加

ウェブメール > 機能管理 > 個人アカウント設定 > アカウント設定

追加 キャンセル

アカウントの追加

アカウント名(*) : 大杉貴志 メール受信 行う ▼

氏名 : 大杉貴志

電子メール(*) :

ウェブメールサーバー

個人のメールアカウントを設定する（2/3）

■サーバー(POP3)

使用する受信メールサーバーの設定を次の2つから選択します。

- ・ウェブメールのメールサーバー設定で設定された受信メールサーバー(POP3)を使用。
- ・個別に設定する。

■ユーザーID

該当のメールアカウントのIDを入力します。
※グループウェアのIDとは異なります。

■パスワード

該当のメールアカウントのパスワードを入力します。
※グループウェアのパスワードとは異なります。

■サーバータイムアウト(秒)

受信メールサーバーへのログオンの失敗を何秒まで待機するかを設定します。

■その他設定

受信したメールを受信メールサーバーに残すか、削除するかを設定します。
残す場合に、何日間残しておくか設定できます。
※残す→残さない設定に変更すると、メールサーバーに残っている全てのメールを再受信しますのでご注意ください。

ウェブメール > 機能管理 > 個人アカウント設定 > アカウント設定

追加
キャンセル

アカウントの追加

アカウント名(*) : メール受信

表示名 :

メールアドレス(*) :

受信メールサーバー

サーバー(POP3) : ウェブメールのメールサーバー設定で設定された受信メールサーバー(POP3)を使用する。

サーバー名 : 未設定

ポート番号 : 110

通信の保護 : なし

個別に設定する。

サーバー名 :

ポート番号 : ※ 通常は110で設定します。

通信の保護 :

ユーザーID :

パスワード :

認証方式 : 標準

標準(APOP)

XOAUTH2

OAuth認可サーバー :

※ メールサーバーとして、Google、Microsoft 365を使用する場合、XOAUTH2を選択し、OAuth認可サーバーを選択して認証を行ってください。

サーバータイムアウト(秒) :

その他設定 : 受信メールをサーバーに残す。サーバーに残す日数 :

※ 受信したメールの「受信日時」から入力した日数を経過したメールをサーバーから削除します。

※ 日数が未入力の場合は無期限にサーバーに残ります。

個人のメールアカウントを設定する (3/3)

■サーバー(SMTP)

使用する受信メールサーバーの設定を次の2つから選択します。

- ・ウェブメールのメールサーバー設定で設定された受信メールサーバー(SMTP)を使用。
- ・個別に設定する。

■メール送信時の認証

メールを送信する際の認証方法を次の3つから選択します。

- ・認証しない
- ・POP before SMTP
- ・SMTP認証

■SMTP認証の設定

「SMTP認証」を選択している場合、SMTP認証をするためのユーザーID、パスワードを入力します。

送信メールサーバー

サーバー(SMTP) : ウェブメールのメールサーバー設定で設定された送信メールサーバー(SMTP)を使用する。

サーバー名 : 未設定

ポート番号 : 25

通信の保護 : なし

送信時の認証 : 認証しない

個別に設定する。

サーバー名 :

ポート番号 : ※ 通常は25で設定します。

通信の保護 :

[▶ STARTTLS通信時の認証について](#)

送信時の認証 : 認証しない

POP before SMTP

※ この値を選択した場合、メール送信する際に受信メールサーバーの認証を行います。

SMTP認証

認証方式 :

SMTP認証の設定 :

ユーザーID :

パスワード :

※ 送信時の認証に「SMTP認証」を選択している場合、この値を設定してください。省略した場合は、受信メールサーバーのユーザーIDとパスワードで認証します。

アカウント情報のインポート/エクスポート

CSVファイルにアカウント情報を出力したり、アカウント情報を一括登録・変更することができます。

[機能管理]>[個人アカウント設定]>[アカウントのインポート/エクスポート]のリンクを押下すると、アカウント情報のインポート/エクスポート画面が表示されます。

- ※ 削除する場合、「削除フラグ」には“d”または“D”を指定してください。
- ※ 「対象ユーザーシステムID」には、アカウントの編集対象となるユーザーのシステムIDを指定してください。
- ※ アカウント情報を新規に追加する場合、「アカウントシステムID」には“0”を指定してください。
- ※ 既存データの上書きを行う場合、「アカウントシステムID」には上書きするデータの「アカウントシステムID」を指定してください。
(登録済みアカウントシステムIDの値は、エクスポートでCSVファイルに出力し、ご確認ください。)
- ※ 「アカウント名」、「電子メール」は必須項目となります。
- ※ メール受信を使用しない場合、「受信メール使用有無」で“使用しない”を指定してください。
- ※ 「受信メールサーバー種別」、「送信メールサーバー種別」で、管理者設定の[メールサーバー設定]を使用する場合は“1”、ウェブメールの[メールサーバー設定]を使用する場合は“2”、個別に設定する場合は“3”を指定してください。
- ※ 「受信メールサーバー認証パスワード」の文字がすべて“(アスタリスク)”の場合(何文字でも可)、パスワードの変更は行いません。
- ※ 受信メールサーバーの認証方式がAPOPの場合、「認証方式」で“APOP”を指定してください。
- ※ 受信メールをサーバーに残す場合、「サーバーに受信メール保存有無」で“1”を指定するか何も指定しないでください。
残さない場合は“0”を指定してください。
- ※ メール送信時の認証方式がPOP before SMTPの場合、「送信時の認証」で“POP before SMTP”を指定してください。
- ※ メール送信時の認証方式がSMTP認証の場合、「送信時の認証」で“SMTP認証”を指定してください。
- ※ SMTP認証方式がCRAM-MD5の場合、「SMTP認証方式」で“CRAM-MD5”を指定してください。
- ※ SMTP認証方式がLOGINの場合、「SMTP認証方式」で“LOGIN”を指定してください。
- ※ SMTP認証方式がPLAINの場合、「SMTP認証方式」で“PLAIN”を指定してください。
- ※ 「SMTP認証パスワード」の文字がすべて“(アスタリスク)”の場合(何文字でも可)、パスワードの変更は行いません。
- ※ 「受信メールサーバー通信の保護」、「送信メールサーバー通信の保護」で、通信の保護を使用しない場合は“なし”、通信の保護を使用する場合は“SSL/TLS”、証明書の検証を行わずに通信の保護を使用する場合は“SSL/TLS (証明書の検証なし)”を指定してください。「送信メールサーバー通信の保護」には“STARTTLS”、“STARTTLS (証明書の検証なし)”も指定できます。

共有メールアカウントを設定する（1/2）

複数メンバー間で共有できる共有アカウントを設定します。

複数のユーザーで1つのメールボックスを共有することができ、社内の代表メールアドレスや部署共有のメールアドレスを運用できます。

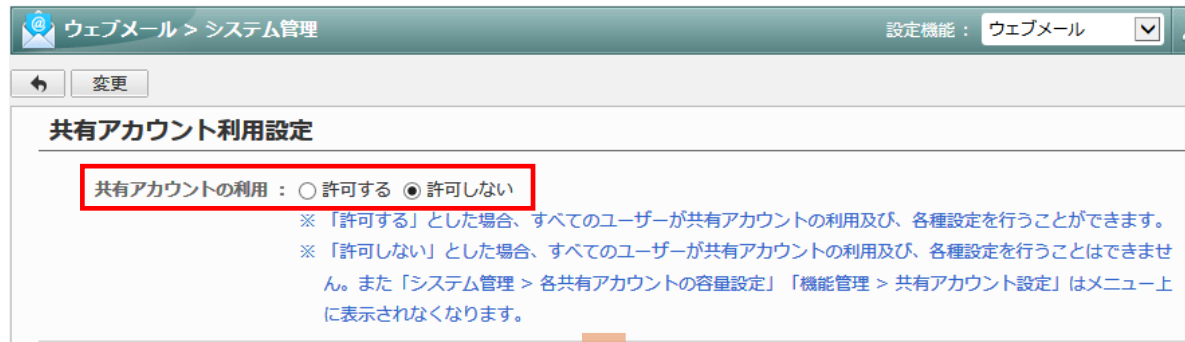
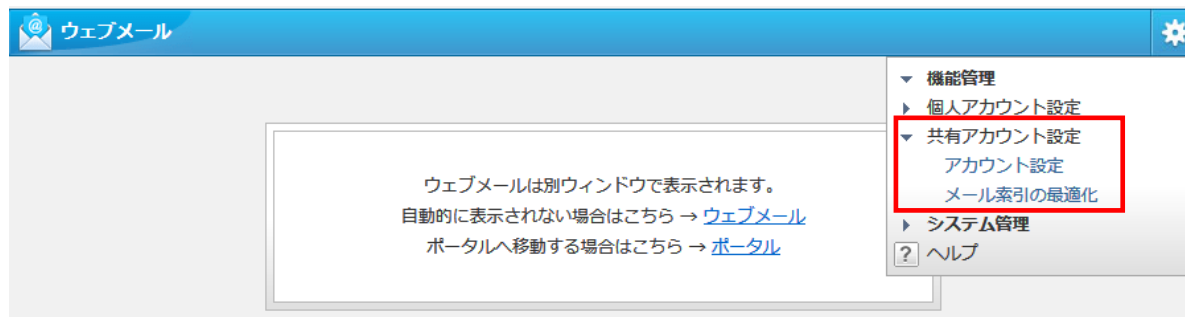
■共有される情報

- ・送受信メール
- ・メールの開封状態（未既読情報）
- ・メールのフラグ情報
- ・フォルダ情報（任意作成も含む）
- ・各種設定（署名設定、フィルタ設定、迷惑メール設定、ゴミ箱設定など）

[システム管理]>[共有アカウント設定]にて、「許可する」設定に変更すると、ウェブメールの管理者設定メニューに「共有アカウント設定」項目が表示されます。

初期表示は「許可しない」設定になっています。

■[システム管理]>[共有アカウント設定]

共有メールアカウントを設定する（2/2）

■[機能管理]>[共有アカウント設定]>[アカウント設定]

システム管理者または機能管理者にて共有アカウントを管理することができます。

■共有先

このメールアカウントを共有するメンバーを設定します。

設定はユーザー単位、組織単位、ロール単位に共有が可能です。

共有している各メンバーにてウェブメールを起動した際に、画面左のアカウント一覧に共有しているアカウントが表示されます。

※共有アカウント自体を削除しますと、その共有アカウントでの全ての送受信メールやメールフォルダなども同時に削除されるため、ご注意ください。

ウェブメール > 機能管理 > 共有アカウント設定 > アカウント設定

共有アカウントの追加 | 表示順変更 | 利用させる | 利用させない | 削除

アカウント名	メール受信	受信状態	利用
<input type="checkbox"/> 総務問い合わせ	▼ する	正常 (10/28 12:51)	利用させる
<input type="checkbox"/> 社内システム関連問い合わせ	▼ する	正常 (11/11 10:45)	利用させる
<input type="checkbox"/> 東日本営業部	▼ する	正常 (11/11 11:06)	利用させる

ウェブメール > 機能管理 > 共有アカウント設定 > アカウント設定

追加 | キャンセル

共有アカウントの追加

アカウント名(*) : メール受信 行う ▼

表示名 :

メールアドレス(*) :

共有先(*) : ユーザー/組織/ロール選択

日本橋 太郎 | 部長 | 東京営業部

受信メールサーバー

サーバー(POP3) : ● ウェブメールのメールサーバー設定で設定された受信メールサーバー(POP3)を使用する。

サーバー名 : 未設定

ポート番号 : 110

通信の保護 : なし

● 個別に設定する。

サーバー名 :

ポート番号 : 110 ※ 通常は110で設定します。

通信の保護 : なし ▼

共有アカウントの保存容量を設定する

各共有アカウントの保存可能な容量設定を行います。

- ① 保存サイズの初期値を設定します。
- ② アカウント名をクリックすると、アカウント個別に設定を行います。
- ③ 複数のアカウントを一括で設定することができます。

※保存サイズは最大「99,999MB」まで設定可能です。

■[システム管理]>[各共有アカウントの容量設定]

ウェブメール > システム管理 > 各共有アカウントの容量設定

設定機能：ウェブメール

共有アカウント容量設定初期値

保存サイズ：設定なし

制限する/制限しない：制限しない

共有アカウント別設定

制限する 制限しない | 一括設定に切替 全3件

<input type="checkbox"/>	アカウント名	保存サイズ	制限する/制限しない	ゴミ箱の保存期間	使用容量
<input type="checkbox"/>	会社代表	設定なし	制限しない	無期限	0 B
<input type="checkbox"/>	総務部共通	設定なし	制限しない	無期限	0 B
<input type="checkbox"/>	注文受付	設定なし	制限しない	無期限	0 B

制限する 制限しない | 一括設定に切替 全3件

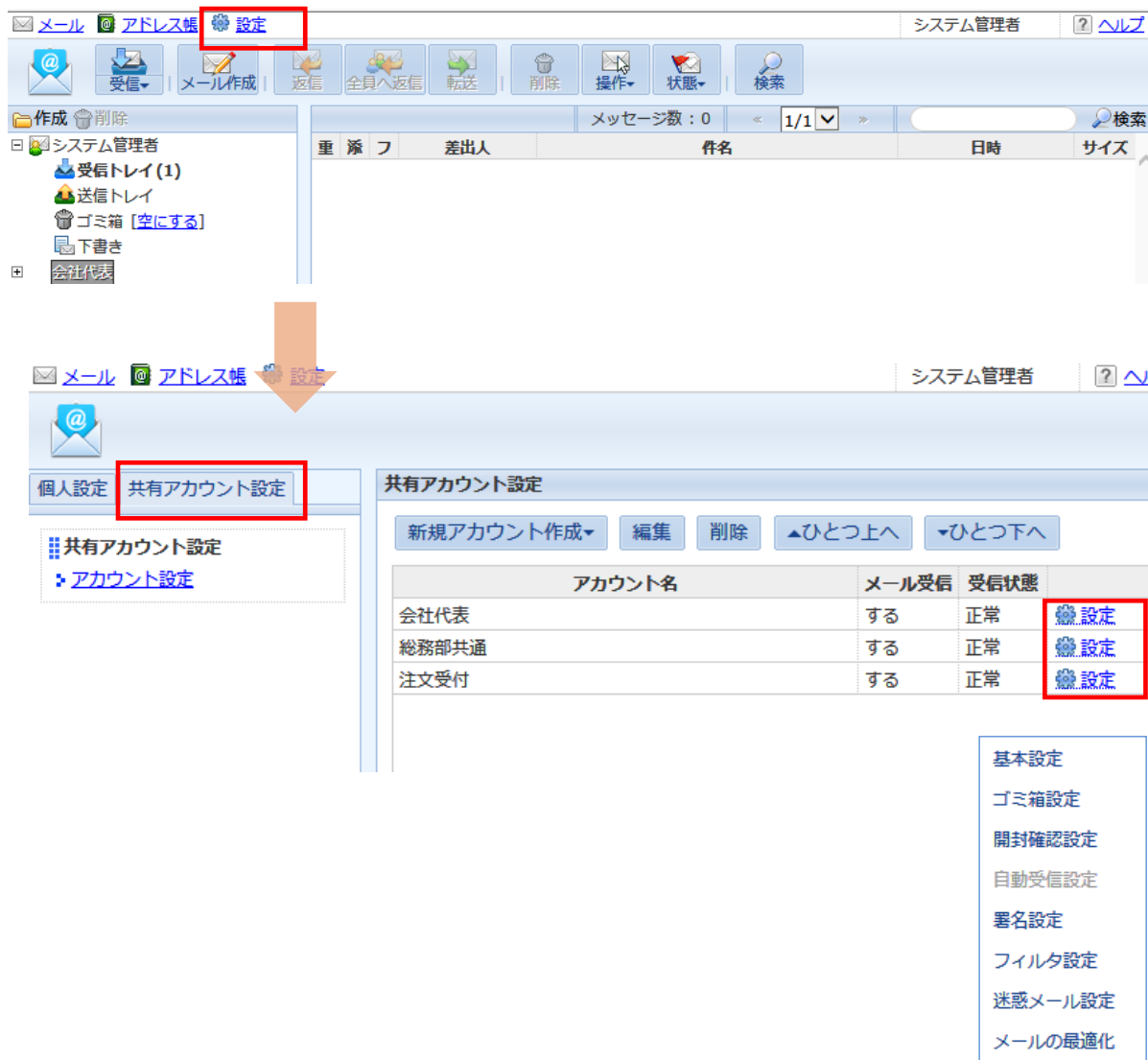
※ 保存サイズが1MB未満の共有アカウントを、容量制限することはできません。

共有メールアカウントの各種設定をする

共有アカウントでもフィルタ設定や署名設定が可能となっております。

※共有アカウントの各種設定は、システム管理者又はウェブメールの機能管理者にて設定が可能です。ただし、[機能管理]-[システム管理]-[共通設定内]の「個人毎のアカウント設定」にて”許可する”設定の場合は、共有先の一般ユーザーでも設定が可能となります。

ウェブメール画面を開き、左上の[設定]をクリックし、さらに「共有アカウント設定」タブを開くと、各共有アカウントの設定が行えます。



The screenshot shows the webmail interface. In the top screenshot, the '設定' (Settings) icon in the top navigation bar is highlighted with a red box. In the bottom screenshot, the '共有アカウント設定' (Shared Account Settings) tab in the left sidebar is highlighted with a red box. An orange arrow points from the '設定' icon to the '共有アカウント設定' tab.

The '共有アカウント設定' (Shared Account Settings) page displays a table of shared accounts and their settings:

アカウント名	メール受信	受信状態	設定
会社代表	する	正常	設定
総務部共通	する	正常	設定
注文受付	する	正常	設定

Below the table, there is a list of settings options:

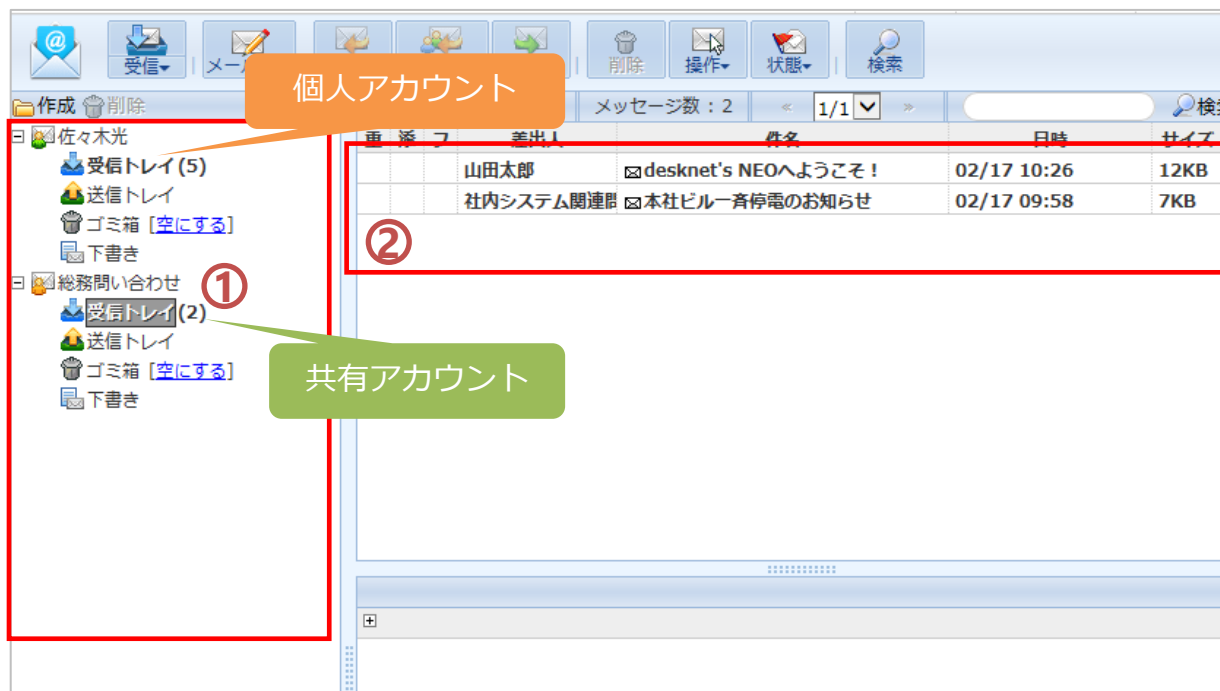
- 基本設定
- ゴミ箱設定
- 開封確認設定
- 自動受信設定
- 署名設定
- フィルタ設定
- 迷惑メール設定
- メールの最適化

共有アカウントを表示する

1つのメールアカウントを、複数のメンバーで共有できます。部署の代表アドレスやサポート窓口のアドレスをメンバー間で共有することで対応状況を共有します。

① 管理者が設定する「共有アカウント」の共有先ユーザーに自分自身が追加されている場合は、アカウント一覧画面に設定された共有アカウントが表示されます。

② 共有アカウントではメンバー間で送受信メールや未既読の情報等が共有されます。



個人アカウント

共有アカウント

再送	添付	差出人	件名	日時	サイズ
		山田太郎	☒ desknet's NEOへようこそ!	02/17 10:26	12KB
		社内システム関連部	☒ 本社ビル一斉停電のお知らせ	02/17 09:58	7KB